



いよいよ本格的な雪のシーズンを迎えました。村では例年のように、主要幹線道路の除雪を有効に行い、道路交通の確保を図り、村民の通勤通学や日常生活などに支障をきたさぬよう防災対策を整えています。除雪作業は原則として午前七時頃まで終了するよう努めています。

ところで道路除雪作業を妨げる一番の原因が路上駐車や

除雪計画路線

路線	除雪業者
村道 主要幹線	村有機械で除雪委託業者に貸与
村道 地区内道路	業者に委託
国道49号線	建設省で除雪
県道4号線	県で除雪

# 除雪

## 冬の道路確保のため めいようび／夜間の路上駐車

障害物の放置などです。これらのことが一件でもありとすると、道路全体に影響をきたします。道路除雪が円滑にできるようみなさんのご協力をお願いします。

またこれからは交通事故や火災の最も危険な時期にも入り、十分注意し安全確保に努めましょう。

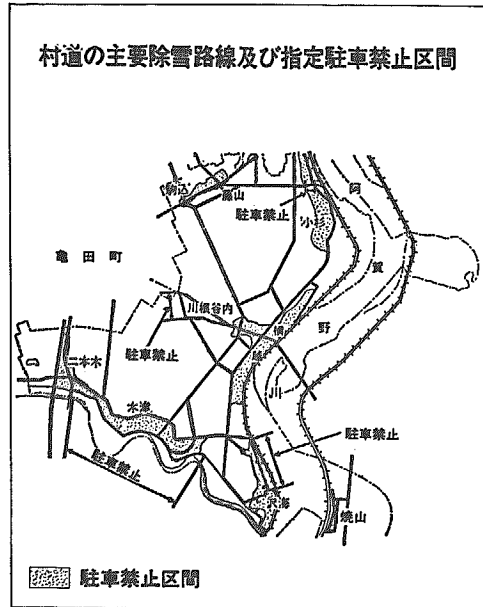
**駐車禁止は必ず厳守**

除雪作業は夜間作業が多いため、道路に車など物件の放置をしないでください。除雪作業に支障をきたすだけでなく、損傷事故のともになります。村では来年一月一日から二月末日までの間、臨時に駐車禁止区間を四ヶ所設定(図面参照)しますのでご注意ください。指定区間に駐車しないようご協力をお願いします。

また、他の道路でも駐車すると無余地違反となりますので十分注意してください。なお、事故や故障でやむを得ず路上に放置せざるを得ない場合は、ただちに役場へ連絡してください。

道路に出ている樹木の枝切りを

道路端の樹木の枝や竹などが雪の重みで道路に垂れ下り



除雪した路上へ消雪を促進するためといえども雪の投げ

雪を道路に出さないで

路上にやむを得ず屋根の雪をおろさざるを得ない場合は、速やかに後始末をし、交通の支障を生じないようにしてください。こういう場合、なるべく地区一斉に共同実施し長時間通行止にならないようにしてください。

大雪になると側寄せも困難になり、雪捨てに困りますので特に家並が混んでいる地帯では、宅地の空地、あるいは畑などは支障のないかぎり雪捨て場を利用してくださるようご協力をお願いします。

12月11日(水)から一カ月間、「年末年始の交通事故防止運動」が行われます。

「運動のスローガン」安全は みんなの願い

ゆく年くる年

特に次のことに努めましょう。

● 飲酒運転の危険性を話し合い、家庭、職場、地域ぐるみで絶滅運動を根気強く続けましょう。

● 車を運転して来たお客に対しては、「酒を絶対に飲まない」という習慣をみんなの力でつくりあげましょう。

● 「この程度の飲酒量なら大丈夫」「もう酔いがさめたから車を運転しよう」というような考えはやめ、飲酒したときは絶対運転をしないと肝に銘じましょう。

● 飲酒運転等は、車を運転することを知らずにお酒をすすめたりすると、すすめた人も処罰を受けることがありますので、絶対やめましょう。

「飲んだら乗るな 乗るなら飲むな」

年末年始の交通事故防止運動

12/11(水)～1/10(金)

愛車がいがる 激しい運転

毎10日は「交通安全前夜祭の日」

地域の輪がふくらむあじさい植え

## 花と緑のふるさと創生 着々と根づく

除雪作業の妨げになる場合が多いので、雪の降る前に伐採しておいてください。

道路端のガラス戸などは防護柵を

除雪車は、雪を以外に遠く飛ばします。また除雪幅を広くとるため、道路端の家屋のガラス戸などを破損する場合があります。前もって防護柵を設けてください。

屋根の雪おろしは各自で後始末を

路上にやむを得ず屋根の雪をおろさざるを得ない場合は、速やかに後始末をし、交通の支障を生じないようにしてください。こういう場合、なるべく地区一斉に共同実施し長時間通行止にならないようにしてください。

雪を道路に出さないで

路上にやむを得ず屋根の雪をおろさざるを得ない場合は、速やかに後始末をし、交通の支障を生じないようにしてください。こういう場合、なるべく地区一斉に共同実施し長時間通行止にならないようにしてください。

この財源は、村を通じて財団法人自治宝くじセンターからの資金を活用したものです。また、この日に緑の羽根記念植樹として「やまぼうし」も三十一本植樹をしました。

これにより春は、こぶしとやまぼうし、夏には、あじさい、秋には、コスモスと花と緑で心安らぐ並木道づくりが着々と根づき始めました。

ありがとうございました

# 赤い羽根募金

共同募金

十月一日から始めた赤い羽根共同募金運動にご協力頂きましたが、結果については次のとおりです。

このように戸別募金、企業募金などで目標額を大幅に上回る募金をいただき、高い達成率を上げることができました。

村民の皆さんの温かいご理解とご協力に厚くお礼申し上げます。

なお、この募金は、平成四年度に村社会福祉協議会に配

## 目標額を達成



放水訓練する第3分団

- 実績額 二、一六八、三〇〇円
- 県内の福祉に使われる額 四九七、〇〇〇円
- 村社会福祉協議会に配分される額 一、六七一、三〇〇円



小学校の善意を届ける児童代表

## 平成3年度赤い羽根共同募金結果

種別	目標額	実績額	達成率
戸別(封筒)募金	1,370,000	1,510,289	110.2%
法人(企業)募金	480,000	624,500	130.1%
学校募金	30,000	15,524	51.7%
無人箱募金	5,000	7,974	159.5%
職域募金	12,000	10,013	83.4%
合計	1,897,000	2,168,300	114.3%

平成4年4月開校 新潟職業訓練短期大学 学生募集

・募集科・定員等

生産技術科・制御技術科・情報処理科・電子技術科

住居環境科各々20名

※学校案内及び募集要項の請求は(郵送料・切手250円)を添えて左記まで

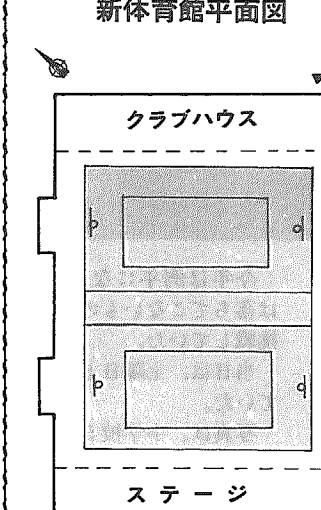
〒957新潟市新富町一丁目七

三新潟職業訓練短期大学 校開発準備室までTel〇二五

四一二二一七八一

分され各種福祉事業に使われます。

## 新体育館平面図



- ・床面積は、現在の2倍の大きさ
- ・常時バスケットが2面とれる広さ

## 待たれる中学校新体育館 工事は順調

現在の中学校体育館は、昭和28年に建設したもので、老朽化により危険となったため体育館を新築しています。

工期は、来年の三月十九日までとなっており、新体育館は、バスケットとバレーを単独で使用するとそれぞれ二面ずつとれる広さです。



順調に進む中学校新体育館

「農山漁村婦人の日」

農山漁村社会の活性化に大きく貢献している婦人の役割を正しく認識し、その能力活用を促進するため三月十日日「農山漁村婦人の日」と定められました。

この趣旨の普及定着を図るとともに農山漁村の明日を考えるため、標語、作文を募集します。

① 応募資格 県内居住者(性別、年齢問わない)

② 応募方法 (標語) はがき等に「農山漁村婦人の日」をPRするような標語と、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を記入して応募(作文)

③ 締切 平成三年十二月二十日(金)

④ 提出先(問い合わせ先) 〒九五〇 新潟市新光町四

新潟県農林水産部経営普及課 農山村生活課担当

TEL(〇二五)二八五-五五一(内線三〇七五・三〇七六)

⑤ 作品の選考 優秀作品は、賞状及び記念品を贈呈し、発表会に表彰標語の著作権は、新潟県に帰属する。

平成4年4月開校 新潟職業訓練短期大学 学生募集

・募集科・定員等

生産技術科・制御技術科・情報処理科・電子技術科

住居環境科各々20名

※学校案内及び募集要項の請求は(郵送料・切手250円)を添えて左記まで

〒957新潟市新富町一丁目七

三新潟職業訓練短期大学 校開発準備室までTel〇二五

四一二二一七八一

国民年金保険料は忘れずに納めましょう

年金は世代と世代の助けあいの制度です